





平成 25 年度

# 第90期中間報告書

平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日まで

## 目次 CONTENTS

ごあいさつ .....	1
 事業の状況 .....	2
 設備の状況 .....	3
 四半期連結財務諸表 .....	4
 トピックス .....	7
インフォメーション .....	14



# ごあいさつ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社におきましては、平成23年12月以降、全ての原子力発電所が停止し、厳しい需給状況が続くとともに、収支・財務状況が急速に悪化したことから、今年度、やむを得ず電気料金の値上げを実施させていただきました。

このような状況のもと、当上半期の連結収支につきましては、電気料金の値上げなどにより、売上高は前年同期に比べ増加しましたが、燃料費や購入電力料が増加したことなどから、経常損益は、前年同期に比べ754億円赤字幅は縮小したものの、756億円の損失となりました。また、資産売却などに伴い特別利益を計上したことなどから、四半期純損益（4～9月累計）は1,138億円赤字幅が縮小しましたが、357億円の損失となりました。

このような業績を踏まえ、当期の中間配当につきましては、誠に遺憾ではございますが、昨年に引き続き見送らせていただきました。株主の皆さまには大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

最重要課題であります原子力発電所の再稼働への取組みにつきましては、現在、川内1、2号及び玄海3、4号の新規制基準への適合性について審査を受けております。9月には両発電所において現地調査が行われるなど、着実に進んでいるものと考えております。引き続き、新規制基準へ適合し、安全性を更に向上させた発電所とする

ため、審査に丁寧かつ真摯に対応してまいります。併せて、地域の皆さまのご理解や安心が得られますよう、様々な機会を捉え、安全性向上や原子力防災への取組みについて丁寧な説明を行うなど、一日も早い再稼働に向けて、全力を傾注してまいり所存でございます。

また、厳しい収支・財務状況を踏まえ、これまでの経営効率化の取組みに加え、修繕費や諸経費をはじめとした費用の更なる繰延べや、支出抑制による費用削減の深掘りなどに取り組んでおります。

株主の皆さまにおかれましては、なお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月



代表取締役社長 瓜生 道明



# 事業の状況 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

当上半期のわが国経済は、政府の経済対策や輸出環境の改善などを背景に、緩やかに回復しつつあります。九州経済においても、輸出や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、全体として回復しつつあります。

このような状況のもと、当上半期の連結収支につきましては、収入面では、電気事業において、電気料金の値上げや燃料費調整の影響による料金単価の上昇などにより電灯電力料が増加したことや、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく交付金が増加したことなどから、売上高（営業収益）は前年同期に比べ13.8%増の8,682億円、経常収益は13.7%増の8,743億円となりました。一方、支出面では、電気事業において、修繕費の効率化や人的経費の削減などコスト削減に努めましたが、為替レートの円安の影響により燃料費が増加したことや、再生可能エネルギー電源からの購入電力料が増加したことなどから、経常費用は3.3%増の9,499億円となりました。

以上により、経常損益は前年同期に比べ754億円赤字幅が縮小し756億円の損失となりました。

また、経営合理化の一環として不動産や有価証券を売却したことや、退職給付信託を設定したことに伴い特別利益に463億円を計上したことなどから、四半期純損益（4～9月累計）は1,138億円赤字幅が縮小し357億円の損失となりました。

事業別の業績（内部取引消去前）は、次のとおりとなりました。

## 電気事業

当上半期の販売電力量につきましては、電灯、業務用電力などの一般需要は、お客さまの節電の影響はあったものの、6月中旬から8月の気温が前年に対し高めに推移したことによる冷房需要の増加などから、前年同期に比べ1.3%の増加となりました。また、大口産業用需要は、電気機械や非鉄金属などの生産が減少したことから、1.4%の減少

となりました。この結果、当上半期の総販売電力量は422億8千万kWhとなり、0.5%の増加となりました。

一方、供給面につきましては、原子力発電所の運転停止が継続している中、渇水による水力の減少もありましたが、他社受電の増加などにより対応しました。

当上半期の業績につきましては、売上高は、電気料金の値上げや燃料費調整の影響による料金単価の上昇などにより電灯電力料が増加したことや、再生可能エネルギーの固定価格買取制度に基づく交付金が増加したことなどから、前年同期に比べ13.9%増の7,975億円となりました。営業損益は、為替レートの円安の影響による燃料費の増加や、再生可能エネルギー電源からの購入電力料の増加はあったものの、売上高の増加に加え、修繕費の効率化や人的経費の削減などコスト削減に努めたことにより、682億円赤字幅が縮小し710億円の損失となりました。

## エネルギー関連事業

売上高は、ガス販売による収入増や発電所補修工事の完成高の増加などにより、前年同期に比べ11.9%増の749億円、営業利益は60億円好転し52億円となりました。

## 情報通信事業

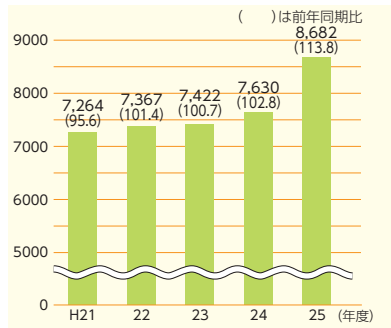
売上高は、携帯電話事業者向けデータ伝送サービスの収入増はありましたが、情報システム開発の大幅な減少などにより、前年同期に比べ4.4%減の408億円となりました。営業利益は、光ファイバ心線貸し事業の減価償却費の減少などにより、105.2%増の54億円となりました。

## その他の事業

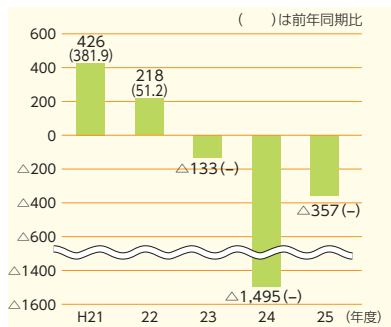
売上高は、清掃業務の受託減少などにより、前年同期に比べ2.8%減の118億円、営業利益は、賃貸建物の減価償却費の減少などにより、38.6%増の13億円となりました。

# 事業の状況

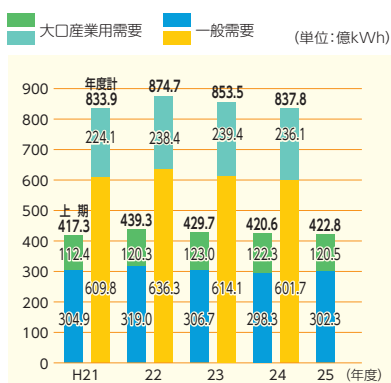
## ■売上高(営業収益)の推移(4~9月累計) (単位:億円)



## ■四半期純損益の推移(4~9月累計) (単位:億円)

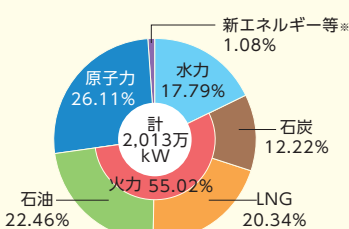


## ■販売電力量の推移



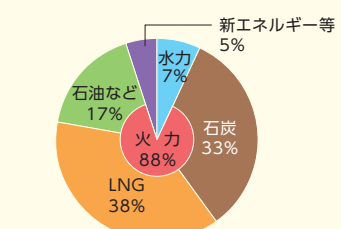
# 設備の状況

## ■発電設備(出力)の構成



\*新エネルギー等には、地熱、太陽光、風力等を含みます。

## ■発電電力量のエネルギー別構成



(注)原子力による発電実績はございません。

## ■主要供給設備





# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表 (平成25年9月30日現在)

(単位:百万円)

資産の部		金額	負債及び純資産の部		金額
科	目		科	目	
固	定	3,803,536	固	定	3,278,342
電	業	2,366,691	社	債	1,083,407
水	力	311,135	長	期	1,523,751
汽	力	177,619	使	用	315,066
原	子	229,819	使	用	26,150
内	燃	18,024	退	職	57,619
新	エ	13,549	資	産	223,720
送	電	653,978	繰	延	79
変	電	221,433	そ	の	48,546
配	電	612,451	流	動	634,057
業	務	122,059	1	年	241,879
そ	の	6,620	短	期	117,192
そ	の	301,801	コ	マ	68,000
固	定	245,339	支	払	78,552
建	設	245,339	未	払	17,014
核	燃	285,186	繰	延	79
装	荷	84,127	そ	の	111,339
加	工	201,059	負	債	3,912,400
投	資	604,516	株	主	501,312
長	期	104,363	資	本	237,304
使	用	238,580	資	本	31,130
繰	延	152,286	利	益	235,258
そ	の	110,223	自	己	△ 2,381
貸	倒	△ 937	そ	の	33,323
流	動	661,457	そ	の	2,547
現	金	331,673	繰	延	4,668
受	取	161,793	為	替	△ 1,003
た	な	89,132	退	職	27,110
繰	延	34,993	少	数	17,956
そ	の	44,653	純	資	552,593
貸	倒	△ 788	合	計	4,464,993
合	計	4,464,993	合	計	4,464,993

## 四半期連結損益計算書 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位:百万円)

費用の部		金額
科 目		金額
営 業 費 用		926,537
電気事業営業費用		864,216
その他事業営業費用		62,321
営業損失	( 58,319)	
営 業 外 費 用		23,447
支払利息		19,633
その他		3,813
四半期経常費用合計		949,985
四半期経常損失		75,612
渴水準備金引当又は取崩し	△ 4,308	
渴水準備引当金取崩し(貸方)	△ 4,308	
税金等調整前四半期純損失		24,919
法人税等		9,923
法人税等		2,658
法人税等調整額		7,264
少数株主損益調整前四半期純損失		34,842
少数株主利益		866
四半期純損失		35,709

収益の部		金額
科 目		金額
営 業 収 益		868,218
電気事業営業収益		796,513
その他事業営業収益		71,705
営 業 外 収 益		6,153
受取利息		1,999
持分法による投資利益		740
その他		3,413
四半期経常収益合計		874,372
特 別 利 益		46,384
固定資産売却益		19,157
有価証券売却益		5,515
退職給付信託設定益		21,711

事業の状況

設備の状況

四半期連結財務諸表

トピックス

インフォメーション

四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨 (平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位:百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 74,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,376
財務活動によるキャッシュ・フロー	108,392
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 84
現金及び現金同等物の増減額	△ 41,383
現金及び現金同等物の期首残高	379,207
現金及び現金同等物の四半期末残高	337,824

連結決算対象会社 (平成25年9月30日現在)

連結子会社40社

(株)キューデン・インターナショナル  
九州通信ネットワーク(株)  
大分エル・エヌ・ジー(株)  
(株)電気ビル  
北九州エル・エヌ・ジー(株)  
(株)キャピタル・キューデン  
(株)キューデン・エコソル  
ニシム電子工業(株)  
九電テクノシステムズ(株)  
西日本空輸(株)  
西日本プラント工業(株)  
九州高圧コンクリート工業(株)  
九電産業(株)  
九電ビジネスソリューションズ(株)  
(株)アール・ケー・ケー・コンピューター・サービス  
西日本技術開発(株)  
九電不動産(株)  
キューデン・インターナショナル・ネザランド  
パシフィック・ホープ・シッピング・リミテッド  
九電新桃投資股份有限公司  
キュウシュウ・エレクトリック・オーストラリア社  
キュウシュウ・エレクトリック・ウィートストーン社 ほか18社

持分法適用会社31社

戸畑共同火力(株)  
(株)九電工  
大分共同火力(株)  
(株)キューヘン  
誠新産業(株)  
(株)九建  
キュウシュウ・トウホク・エンリッチメント・インベスティング社  
エレクトリシダ・アギラ・デ・トゥクспан社  
エレクトリシダ・ソル・デ・トゥクспан社 ほか22社





## 新規制基準への適合性確認申請及び審査への対応状況について

### 川内原子力発電所1、2号機及び玄海原子力発電所3、4号機の新規制基準への適合性確認申請

- 川内原子力発電所1、2号機及び玄海原子力発電所3、4号機において実施している安全対策について、国が定めた新規制基準への適合性確認のための申請を行いました。  
(川内1、2号機：平成25年7月8日申請、玄海3、4号機：平成25年7月12日申請)
- 当社は、新規制基準に的確に対応することはもちろんのこと、今後も更なる安全性・信頼性向上への取組みを自主的かつ継続的に進め、原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

### 安全対策の実施状況(一例)



移動式大容量ポンプ車の配備



直流電源用発電機の配備



放水砲の配備



緊急時対策所の設置

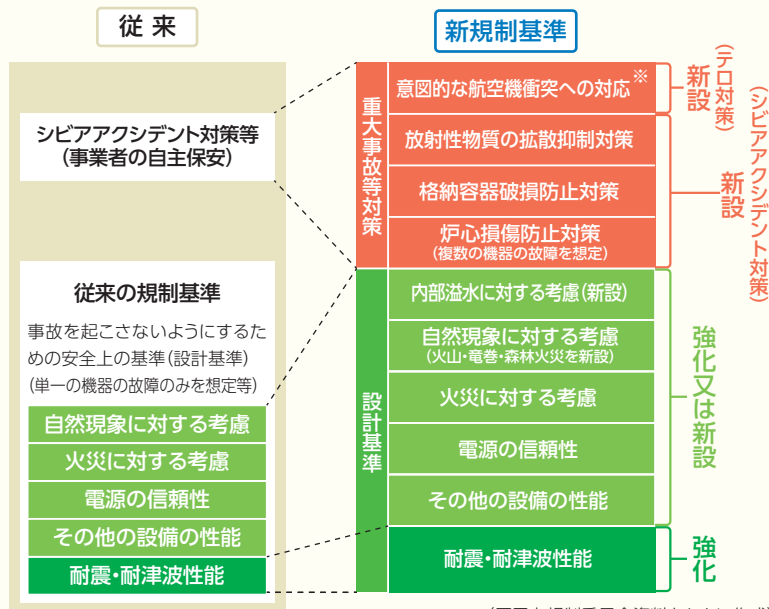
## 新規制基準

福島第一原子力発電所の事故を受けて「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」が改正され、事故の教訓や最新の技術的知見、海外の規制動向等を踏まえた原子力発電施設に係る新たな規制の基準(新規制基準)が策定されました(平成25年7月8日施行)。

### ●新規制基準の概要

新規制基準は、事故を起こさないようにするための従来からの安全上の基準(設計基準)と重大事故等対策の基準(重大事故等対策)で構成されています。

新規制基準では設計基準を強化し、重大事故等対策が新設されました。



(原子力規制委員会資料をもとに作成)

※基準で要求されている特定重大事故等対処施設については、経過措置として適合までに5年の猶予期間が設定

### ●新規制基準への適合性確認

原子力規制委員会は電力会社が提出した3種類の申請を同時に受け付け、ハード・ソフト両面で一体的に審査します。

▶原子炉設置変更許可申請(基本設計)

安全対策の基本方針、有効性評価結果を記載

▶工事計画認可申請(詳細設計)

安全対策設備の性能や数量など詳細な設計内容を記載

▶保安規定変更認可申請(運用管理)

重大事故等対策に係る体制及び設備の運用管理について記載

一体的に審査

## 適合性審査への対応状況

- 現在、原子力規制委員会や原子力規制庁による審査が進められており、当社は東京に約90名の専任チームを常駐させ、全社を挙げて丁寧かつ真摯に審査に対応しております。
- 審査では、審査会合（週1、2回程度開催）やヒアリング（ほぼ毎日開催）のほか、発電所の現地調査も行われております。審査の資料や議事録は原子力規制委員会のホームページで公開されております。

### これまでに行われた発電所の現地調査

●川内1、2号機:平成25年9月20日      ●玄海3、4号機:平成25年9月27日

- 安全対策の実施状況については、適宜、地域の皆さまや報道機関等に公開しております。

今回の申請の概要や原子力発電所の安全確保に向けた取組みについては、当社ホームページに掲載しております。

九州電力  
アノオホサマデ、サマシキトシク  
九州電力の思い

文字サイズ 小 中 大    サイト内検索    検索

お問い合わせ(お便りBOX)    よくあるご質問    サイトマップ    ENGLISH

ホーム    個人のお客さま    法人のお客さま    株主・投資家の皆さま    原子力・環境・エネルギー    九電みらいの学校    企業情報

### 原子力発電所の安全確保に向けた取組みについて

九州電力は、福島第一原子力発電所で発生した事故を重く受け止め、同じような事故に至らないよう、あらゆる安全対策に取り組んでおります。

詳細はこちら

新規規制基準への適合性確認のための申請について

原子力発電所の安全確保

今冬における節電へのご協力をお願い

電気料金の値上げ認可について

信頼の再構築に向けた取組み

記者会見動画  
2013年10月31日の記者会見の様子を配信しています。

私たちの取組み  
電力の安定供給に向けた取組みを動画で紹介しています。

CSR報告書  
お客さまとのコミュニケーションを深めるための資料を掲載しています。

再生可能エネルギーからの電力購入  
再生可能エネルギーからの電力購入制度や手続きについてご紹介しています。

## 訓練の状況

●原子力災害を防止するため、様々な状況を想定した訓練を実施しております。

▶福島第一原子力発電所の事故以降、緊急安全対策訓練や外部電源復旧訓練等を、玄海原子力発電所で417回、川内原子力発電所で207回実施しております(平成25年10月末現在)。



移動式大容量発電機を使った電源供給訓練



可搬型ポンプ・ホースを使った  
原子炉等を冷却するための給水訓練

●国主催の原子力総合防災訓練に参加しました。

▶川内原子力発電所を対象とした国主催の原子力総合防災訓練が実施され、当社も参加しました(平成25年10月11~12日の2日間)。

▶訓練では、国や自治体、住民、警察、消防、自衛隊、当社等の関係機関が連携し、住民避難等が行われました。

▶当社は、住民避難のための迅速かつ正確な情報発信や地域の皆さまの安全確保に向けた事故拡大防止の訓練等を、全社を挙げて実施しました。



訓練の様子(本店)



訓練の様子(薩摩川内市内)

# 今夏の需給実績と今冬の需給見通しについて

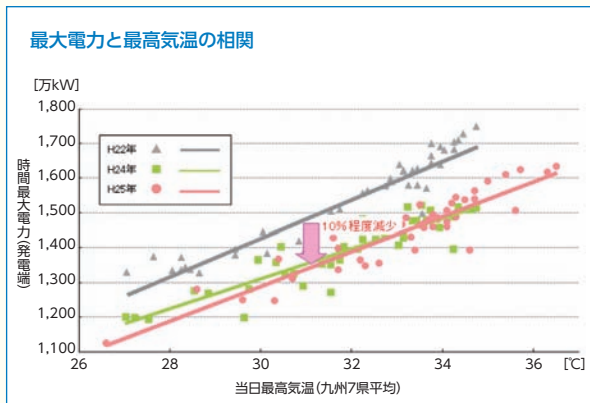
## 1 今夏の需給実績

今夏は、最高気温が九州各地で観測史上最高を記録するなど記録的な暑さとなり、8月20日に今夏の時間最大電力1,634万kWを記録しました。

最大電力は、気温の影響を除くと、平日の平均で平成22年から10%程度減少しており、これはお客さまが広く節電にご協力いただいた結果と考えております。

供給面では、火力発電所の定期点検時期を調整するとともに、日々の点検強化等によるトラブルの未然防止・安全運転に努めることで、供給設備を最大限に活用しました。

このような中、今夏は、7～8月において、電力使用率が92%を超える日が、昨夏の3日に対して16日と多く発生しました。特に厳しい需給状況となった8月19日の週は、全国的にも需給が厳しく、市場価格が高騰する中で、電力取引市場や他電力会社からの電力調達等の追加供給力の確保に最大限取り組むとともに、お客さまには一層の節電にご協力いただき、何とか安定供給を維持することができました。



## 2 今冬の需給見通し

原子力発電所の再稼働がない場合、今冬の需給見通しとしては、定着節電として、昨冬お取り組みいただいた節電の約8割を織り込んだ電力需要に対し、可能な限りの供給力対策を織り込むことで、電力の安定供給に最低限必要な予備率3%以上を何とか確保できる見通しです。

しかしながら、平成23年度並みを超える厳寒による電力需要の急増、及び火力発電所等の電力供給設備のトラブルなどが発生した場合には、より厳しい需給状況となることが予想されます。

このため、今冬におきましても、引き続き、お客さまの生活・健康や生産・経済活動に支障のない範囲で可能な限りの節電をお願いしているところです。

当社としましては、社員一丸となって、あらゆる需給両面の対策に取り組み、引き続き、電力の安定供給確保に努めてまいります。

### 今冬の需給見通し (原子力の再稼働がない場合)

[発電端：万kW]

	12月	1月	2月	3月
需 要	1,470	1,536	1,536	1,301
供給力 (合計)	1,519	1,584	1,584	1,437
原子力	0	0	0	0
火力	1,247	1,262	1,263	1,197
水力	78	76	76	86
揚水	138	154	153	133
風力	1	1	1	1
地熱	17	17	17	17
融通	35	71	70	0
新電力等	3	3	3	3
供給力-需要	49	48	48	136
[予備率]	[3.3%]	[3.1%]	[3.1%]	[10.5%]

(注) 需要はH23年度並みの厳寒を想定しています。  
四捨五入の関係で合計値が合わないことがあります。



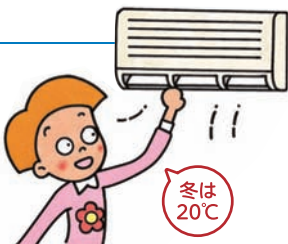
# 毎日の暮らしの中でできる節電について

日頃より、節電にご協力いただき誠にありがとうございます。ご家庭における節電の取組事例及びお客さまの節電への取組みをサポートする「でんき予報」について紹介いたしますので、ご活用ください。引き続き節電へのご理解とご協力をお願い申し上げます。（注）製品の性能や特性によっては最適な方法が異なりますので、取扱説明書の内容などもご確認ください。

## ● エアコン

### ■ 設定温度は控えめに

衣服などで調節して、設定温度をできるだけ外気温に近づけましょう。冬の設定温度は20℃を目安に。



### ■ 室外機の周りにはふさがずに

植木鉢やごみ箱などで吹き出し・吸い込み口をふさぐとエネルギー効率が悪くなります。



## ● 照明

### ■ こまめに消灯しましょう

### ■ こまめな掃除・蛍光灯は早めに交換を

ランプやかさが汚れてくると明るさが低下します。定期的なお掃除を忘れずに。また、蛍光灯は、長く使っていると気付かないうちに暗くなっています。明るさが落ちても消費電力は変わりません。端が黒ずんできたなら早めの交換を。



## ● でんき予報（電力のご使用状況）

### 当社ホームページ

[http://www.kyuden.co.jp/power\\_usages/pc.html](http://www.kyuden.co.jp/power_usages/pc.html)

※携帯電話版・スマートフォン版の当社ホームページでもご覧いただけます。

- お客さまの節電への取組みをサポートするために、電力の需給状況をお知らせしています。
- 1日の1時間ごとの「電力使用状況の推移」も掲載しています。

### 〈掲載イメージ図〉

本日のでんき予報○月○日（○曜日）（○月○日 6時55分発表）



予想使用率

86%

予想最大電力（18～19時発生見込み）

1,080万kW

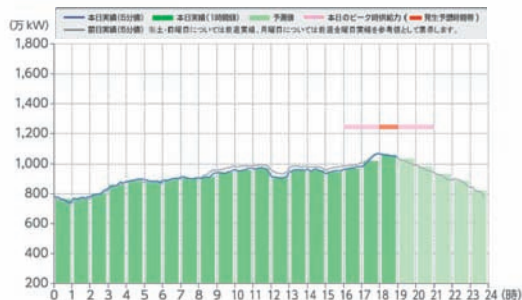
ピーク時供給力

1,253万kW

予想最高気温

19.5℃

### 電力使用状況の推移



# 再生可能エネルギーに関する取組みについて

## ひいじだけ 大分県平治岳北部における地熱調査

大分県にある平治岳の北側（由布市、竹田市及び玖珠郡九重町）で、地熱発電の可能性を検討するための調査を実施しております。

本地点は、国の調査結果から地熱資源の賦存の可能性が期待されるものの、国立公園特別地域に指定されているため詳細な調査に至っておりませんでした。

国の地熱開発推進に向けた規制緩和（平成24年3月）により公園特別地域外からの傾斜掘削等による開発の取扱いが明確になったこと、調査範囲に私有地を有していることから、本地点において調査に着手することとしました。

平成25年度は、地下構造を詳細に把握するための地表調査等を実施します。地表調査結果から、調査井掘削を実施する場合は、改めて地元、関係自治体と協議を行い、ご理解を得ながら進めてまいりたいと考えております。

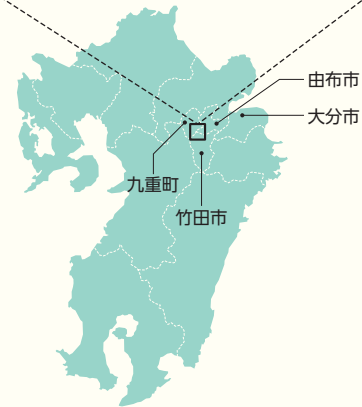
## 大分県九重町における地熱発電事業

九重町と当社は、町が菅原地区に所有する地熱井の有効活用策を検討するため、噴出試験等の調査、及び周辺温泉等への影響調査を実施してまいりました。

その結果、長期にわたって安定した発電が可能な地熱資源が確認できたこと、噴出による周辺温泉等への影響も認められなかったことから、地熱発電事業を実施することになりました。

これに伴い、九重町、当社及び西日本環境エネルギー株式会社は、大分県知事立会のもと、「菅原地区における地熱発電事業に関する基本協定」を締結しました。

本事業は、九重町が地熱資源（蒸気・熱水）を提供し、西日本環境エネルギーが発電所の建設、運営と地熱資源の管理等を行い、当社がこれまでの調査実績を踏まえ、技術支援するものです。



### 九重町における地熱発電事業の概要

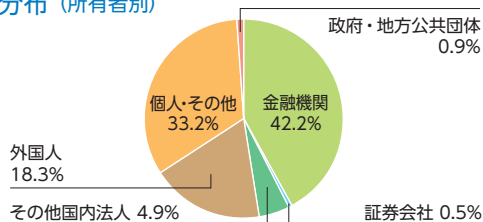
発電所名	菅原バイナリー発電所
所在地	大分県玖珠郡九重町菅原
事業者	地熱井の所有者：九重町 発電事業者：西日本環境エネルギー
発電方式	空冷式バイナリー
発電規模	約5,000kW（発電端）
工事開始時期	平成26年3月（予定）
運転開始時期	平成27年3月（予定）

# ▶▶▶▶ インフォメーション

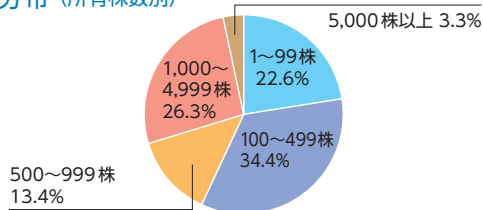
## 株式の状況

発行可能株式総数.....10億株  
 発行済株式の総数.....4億7,418万3,951株  
 株主数.....16万6,121名(前期末比較8,172名減)

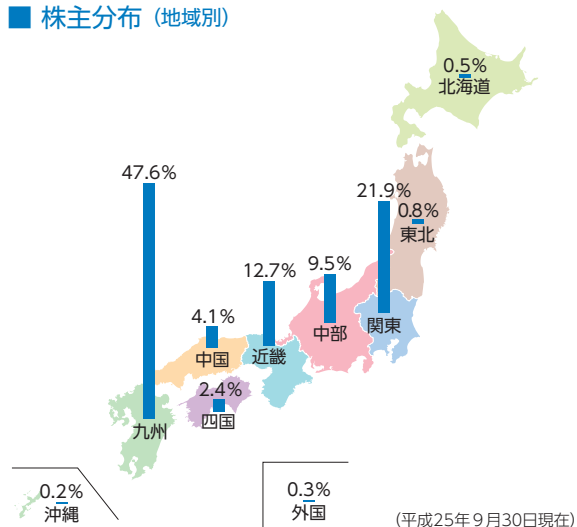
### ■ 株式分布 (所有者別)



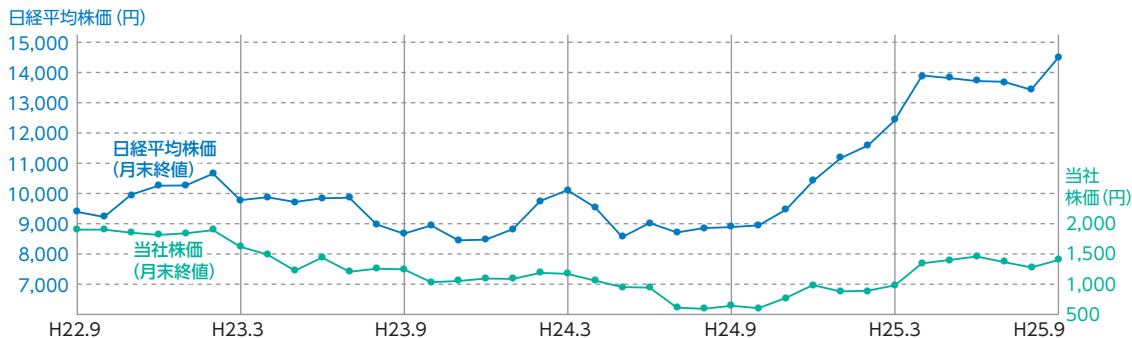
### ■ 株主分布 (所有株数別)



### ■ 株主分布 (地域別)



### ■ 当社株価と日経平均株価の推移





## 会社概要

設立年月日 昭和26年5月1日  
 資本の額 2,373億486万3,699円  
 従業員数 13,282名

主要事業所  
 本店 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号  
 ☎(092)761-3031  
 支社 北九州・福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・東京

(平成25年9月30日現在)

## 取締役及び監査役

代表取締役会長	貫 正義	取締役	大島 洋	常任監査役	安元 伸司
代表取締役社長	瓜 生道明	取締役	山崎 正幸	監査役	松井 茂
代表取締役副社長	山元 春義	取締役	内藤 富夫	監査役	小野 丈夫
代表取締役副社長	鎮西 正直	取締役	坂口 盛一	監査役	矢田 俊文
代表取締役副社長	津上 賢治	取締役	佐藤 尚文	監査役	内海 善雄
代表取締役副社長	吉迫 徹	取締役	伊崎 数博	監査役	古庄 文子
取締役	荒牧 智之	取締役	薬真寺 偉臣		
取締役	平田 宗充	取締役	渡辺 顕好		

(平成25年9月30日現在)

## 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
 定時株主総会 6月  
 基準日 定時株主総会・期末配当 3月31日  
 中間配当 9月30日  
 (その他必要あるときはあらかじめ公告します。)

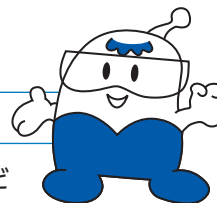
単元株式数 100株  
 証券コード 9508

公告方法 電子公告により、当社のホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、福岡市において発行する西日本新聞に掲載して行います。

●ホームページ <http://www.kyuden.co.jp>

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社

## 株式に関するお手続きのお問い合わせ



住所変更、単元未満株式(100株未満)の買取・買増請求、相続のお手続きなど

株式を証券会社へお預けの株主さま

お取引の各証券会社

株式を証券会社へお預けでない株主さま  
(特別口座に株式をお持ちの株主さま)

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
☎0120-782-031 (フリーダイヤル)  
<http://www.smtb.jp/personal/agency/>  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号

## 特別口座に株式をお持ちの株主さまへ

- ◎特別口座でご所有の株式について、売買・譲渡するためには、「証券会社の口座(一般口座)」への振替手続きが必要です(単元未満株式の買取・買増手続きは、特別口座でも請求可能です)。
  - ◎特に、現在「特別口座」と「一般口座」の両方にお預けの場合には、特別口座から一般口座へのお振り替えにより、一般口座で一括管理されることをお勧めします。
  - ◎お預け状況の確認や口座振替をご希望される株主さまは、上記の三井住友信託銀行までお問い合わせください。
- \*特別口座から一般口座への振替には手数料はかかりません。  
\*証券会社によって、口座開設手数料や管理料が発生する場合がございます。  
詳細は、振替先の証券会社までお問い合わせください。

## 九州電力株式会社

〒810-8720 福岡市中央区渡辺通二丁目1番82号 TEL 092-761-3031(代表)  
ホームページアドレス <http://www.kyuden.co.jp>